

---

# 私のFPS稼業

りゅう

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私のFPS稼業

### 【Nコード】

N2875CA

### 【作者名】

りゅう

### 【あらすじ】

新作FPS WAR FIELD の世界ランク1位になった彼女 北上みさきはランク1位になったため、謎のロリ少女が家に訪れてきた。

「今日から私がマネージャーになります！」

## ブログ

### 【彼女との出会い】

FPS (First Person Shooting) それは、簡単に言えば「戦争ゲーム」だ。  
アメリカを中心に生まれて行ったものも、今となつては日本でも、ゲームセンターに置いてあるゾンビと戦ったりなど、少し形を変えながらも多くの客層に楽しんでもらっている…

【AM9:00 秋葉原】

「よっしゃー！ようやくに入れたぞー！」

彼女が手にしているものは、新作FPSゲーム

WAR ウォーフィールドと呼ばれるものだ。

「ま、外でワイワイ騒いでも気持ち悪いだけだし、早速家に帰ってやりますか！」

【AM9:45 都内某所自宅】

彼女は足早に帰宅していつもより10分ほど早く着いた

「よし！早速起動するぞー！」

しかし、待っていたのはゲームのスタート画面ではなく、ただの。

ゲームデータをインストール中ですしばらくお待ちください。  
というメッセージだ。

「あー！もう！なんで最近のゲームは面白いけど始めるのにインストールなんかが必要なんだよあー！データが大きくなるのはいいんだけどさあ！そー（以下略）」

などと愚痴っている間にインストールは終わっていた。

「うし！今度こそスタート！」

【PM9:00】

「ふうー、もうこんなもんかー

はやいなあー。」

始めてから12時間もう、世界ランク1位をとってしまった。

確かこのゲームは1位の人だけの特別な、

「なにか」があつたはずだ。

彼女は手元にある取扱説明書を手に取った。

「えーっと、なにに？」「見事ランキング1位を獲得された方には内蔵されているGPS機能を使って使いの者を向かわせます」だつてえ？なら、もういまから俺の家に来ているのか？しかしもう9時だぞ？どれだけブラックな会社なんだ。」

ピンポーン！

誰か来たようだ。まさか、ランク1位の使いが、もう来たのか？いくらなんでも早すぎやしないか。

「すみませーん！WARFIELDの者なんですけどー！北上みさきさーん！」

「はーい、今出まーす！」

今更だが彼女の名前は、北上みさき、都内の大学に通う大学生だ。憧れのキャンパスライフ！と思いきや、サークルに入るもの先輩などとの付き合いがうまくいかずすぐに抜け、パッケージがカッコいいという理由でFPSをはじめた。

それからというものの、彼女はFPSがかなり上達し1試合に1デス付くか付かないかぐらいにはなった。

ガチャ

ドアを開いた、そこには誰もいない。

と思いきや、そこには見た目15歳くらいの身長が約140センチの女の子が立っていた。

「あなたが北上みさきさんですね？私は、今日から、あなたのマネージャーになります！よろしくお願いいたします！」

いやちょっと待てと。

ツツコミたいところが2、3個あるのだがまず一番気になるところから聞こう。

「すみません。マネージャーってどういうことですか？」

「えっ？説明書に書いてなかったですか？」

1位になった方には「私たちの会社で、働いてもらう。」と

「えっ」と聞き返す私

「説明書には使いの者を向かわせるとしか書かれていなかったんですけど。」

## プロローグ

### 【彼女との出会い】（後書き）

どうも、始めまして。りゅうです。

今回が初投稿となります。

多くの読者の方の目に入れていただいて。

アドバイスなどもしてくれと、ありがたいです。

投稿ペースは、週1から2ぐらいを目指したいと思います。

では、プロローグの次の第一話で会いましょう。さようなら。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2875ca/>

---

私のFPS稼業

2014年3月16日08時44分発行